

[dōnk]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

事務局 津市東大之内21-4 オーデンビル

3F / Siege : Oden Building 21-4 Higashi-

Maranouchi Tsu JAPON ☎0592 (26) 3159

N° 016 le 5 Mai 1991 SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

アンドレ・ブリュネさんを迎えて

5月26日に91年度総会

三重日仏協会では、1991年度総会を下記のように開催することになりました。90年度の活動・会計報告、91年度の活動・財政計画、役員の変更などが審議されます。また総会后、ゲストのアンドレ・ブリュネ氏の記念講演とレセプションを予定しています。ぜひご出席ください。

5月26日(日) 午後4時
津市 洞津会館 (津新町駅西徒歩3分)
レセプション会費 4,000円

アンドレ・ブリュネさん (A. BRUNET)

1926年 フランス リオン市生まれ
1954年 外交官として日本に赴任。以後86年に
神戸・大阪総領事を退官されるまで外交官として
ご活躍。89年より立命館大学国際関係学部教授。

最近発行された著書「外交辞令はぬきにして」
は、日仏の文化、風俗のちがいなどをエスプリあ
ふれる文章でえがき話題になっています。鮭が大
好き、でも餅はきらい、日本語ペラペラという知
日家です。



BRUNETさんの
caricature
(著書の表紙より)

本誌をもって総会の通知にかえます。同封のハガキで5月15日までに出席を
ご回答ください。

BEAUX-ARTS

6/22(土)~7/28(日) 写真のエコール・ド・パリ展

〈Paris, Capitale de la photographie〉

三重県立美術館

1910年代から1930年代にかけてのパリは、この国際的な美術の都に集まった世界中の芸術家たちが才能を花咲かせた時期です。彼らはエコール・ド・パリと呼ばれ、絵画の世界でとくに私たちに親しまれていますが、その時期、ファッション、映画、報道など広いジャンルと関わりながら、パリの人々をファインダーを通して定着させた一群のすぐれた写真家がいたのです。そうしたカメラマン、例えばアジュ、ブラッサイ、マン・レイなど27人の作品を通じて、「もうひとつのエコール・ド・パリ」の芸術を紹介しようという企画。

日仏協会会員の優待鑑賞検討中です。詳細は総会で。

CINEMA

7月頃(日程会場・未定) シラノ・ド・ベルジュラック

〈Cyrano de Bergerac〉

エドモン・ロスタンのおなじみの名作の映画化。昨年のカヌヌ映画祭でも受賞した待望の話題作が、津シネマフレンズの記念映画会で上映されます。

日仏協会後援で、希望会員の無料鑑賞を検討中です。詳細は総会で。

三重県国際交流団体連絡会が近く発足

本協会も参加の予定

三重県では、地域の国際化と国際交流の活発化をはかる目的で、この5月、財団法人「三重県国際交流財団」を設立する準備を進めていますが、これと並行して県内各地域で国際交流に関わっている民間団体の親睦と連携のための連絡会議を設けようと呼びかけています。三重日仏協会もこの趣旨に賛同し準備会に参加しています。

準備会には、日中友好協会や三重YMCA、津ユネスコ協会など多くの団体が加わっています。